



編集・発行：こうべ市民連合議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL：078-322-5844 FAX：078-322-6161



2019年がスタートしました！
 いま、神戸では**都心・三宮の再整備**など、いろいろな**新しい取り組み**が始まっています。このたくさんの新しい芽を育て、確実に実らせるためには、**実のある政策議論**をして、**精錬された施策**が展開される必要があります。
 私はこれまでみなさんのご意見やご要望に誠実にお応えし、いまの神戸や政治に必要と思うことを率直に議会でぶつけてきました。これからも誠実に政策提案・実現に取り組み、**神戸の魅力を活かしたまちづくり**と情報発信に、全力でがんばってまいります。



事業用太陽光パネルの設置を規制する 条例が成立しました！

太陽光発電は、適正な設置・管理が全国的な課題となっており、神戸でも7月の豪雨で、斜面に設置された太陽光パネルが崩落をし、山陽新幹線が運休するなどの問題が発生しています。

そこで、**事業用太陽光パネルの設置を規制する条例**が検討され、11月議会で成立しました。

規制の対象になるのは、**地上に設置する10Kw以上**の事業用太陽光パネルです。

それらのパネルは、災害危険区域や緑地保存区域など**防災上・自然環境保全**の観点から**不適切な**地域では設置が**禁止**されます。

また、住居地域や鉄道の敷地に隣接する一定の区域など、**防災上、住環境、交通インフラ、自然環境**等に特に大きな**影響を及ぼす**可能性のある地域では、

設置に**許可**が必要になり、一定の**施設基準を満たす必要**があります。

それ以外の地域では事前に届出が必要になります。

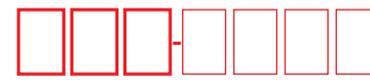
そして、条例施行（平成31年7月1日）前にすでに設置されているものや設置工事に着手しているものを含めて、地上に設置する10Kw以上の事業用太陽光パネルの**すべて事業者**に、毎年度、**施設の維持管理状況を報告する義務**が課されます。

また、必要に応じ、立入調査、指導、助言・勧告、氏名公表などが行われます。

このような規制をする条例の制定は政令市の中で神戸市が初めてです。

私は議会で、既存のパネルも含めて、条例に沿った適正な設置・管理がなされるべきと主張してきました。今後の運用に注目していきたいと思います。

郵便はがき



人見 誠 プロフィール

- 昭和49年2月18日生 ●一児の父
- 北五葉小、鈴蘭台中、兵庫高校卒業
- 立命館大学法学部法律学科卒業
- 立命館大学大学院法学研究科修士課程修了
- 社会保険労務士、行政書士
- 現在、福祉環境委員会、大都市行財政制度に関する特別委員会に所属
- ブログ <http://blog.goo.ne.jp/hitomi-makoto>



人見まこと
 オフィシャル
 WEBサイト
<http://kobe-hitomi.jp>

ご意見・ご要望をお寄せ下さい！

北区鈴蘭台支部
人見 誠 事務所

神戸市北区南五葉1-3-27 1F
 TEL 078-595-5195 FAX 078-595-5197
 E-mail kobe.hitomi@gmail.com

料金別納郵便

大井としひろ
市政事務所

郵便はがき



神戸市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

神戸市会議員（須磨区）

大井としひろ

企業建設委員会委員長

- メールアドレス ooi@kobe-001.com
- 公式ホームページ <http://kobe-001.com>
- おーいブログ <http://blog.goo.ne.jp/kobeooi>

事務所

〒654-0012 神戸市須磨区飛松町1丁目4番9号 吉川ビル1階
TEL 078-735-1103 FAX 078-743-6155



こうべ市民連合議員団 神戸市会 NEWS

安心・安全、住みよい須磨の街づくりに全力投球します!

2019.新年号

編集・発行: こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 TEL (078) 322-5844

神戸市会は9月18日から12月7日までの会期中、平成30年第2回定例会市会が開会されました。

私は、第二分科会に所属し、交通局関係、建設局関係の2局について、会派を代表して質疑を行いました。

「交通局」・通学定期定期の割引率拡大について

従前から提案している地下鉄通学定期の割引率拡大について進捗状況を聞いたところ、局長から「学生の皆さんの通学定期の割引率を拡大する方向で検討する。」との答弁を引き出しました。



「建設局」・自転車関連施策について

名谷駅前駐輪場については7月にリニューアルし利便性が向上しています。あわせて自転車走行空間の整備の必要性を訴えたところ、局長から「名谷駅周辺において、さらに整備が必要と考えられ路線についても検討を進めていきたい。」との答弁がありました。



11月18日 神戸マラソンが開催されました。

「感謝と友情」を大会テーマに、秋の下約2万人のランナーが神戸の街を駆け抜けました。



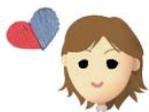
完走しました。

大井としひろの街頭活動

朝の街頭活動を行っています。
身近な問題でもなんでも結構です。
お気軽にお声掛けください。

午前6時30分～8時30分

- 月曜日/地下鉄名谷駅
- 水曜日/地下鉄妙法寺駅
- 金曜日/JR須磨駅



〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL 078-322-5844 FAX 078-322-6161
(編集・発行) こうべ市民連合議員団

テーマ

「切らないがん治療の最前線について」

講師：「神戸低侵襲がん医療センター」

院長 藤井正彦先生



みなさん、こんにちは。神戸市会議員の川原田弘子です。川原田弘子からの市政報告と、切らないがん治療で市民に知られる「神戸低侵襲がん医療センター」の藤井先生を講師にお迎えした「放射線がん治療の最前線について」の講演会による市政報告会を開催しますので、下記の通りご案内します。

記

1. 日時 平成31年3月3日(日) 10:00~11:30

2. 場所 シーサイドホテル 舞子ビラ 3F 「舞子」の間

〒655-0047 神戸市垂水区東舞子町 18-11 tel.078-706-3711(代表)

3. 会費 一人 大人600円(お茶代として、当日集めます)

4. プログラム

第一部 市政報告(川原田弘子) 10:00~10:30

「神戸市政の現状の話題から」

第二部 講演会 講師 藤井 正彦氏 10:30~11:30

「切らないがん治療の最前線について」

*質疑応答時間 15分を含めます。

★しめきり 2月28日(木)までをお願いします。★

*お申し込みは、下記まで、電話、FAX、Eメールをお願いします。

〒655-0034

神戸市垂水区仲田 3-1-8-202

川原田弘子事務所 TEL&FAX 709-8998

(月・火・水・木・金 10:00~16:00) e-mail happy@hiroko-club.com

講師 藤井正彦 先生
(神戸低侵襲がん医療センター 理事長・病院長)
1982年 神戸大学医学部卒業、同附属病院放射線科
入局
1989年 同助手
1992年 三木市立三木市民病院放射線科医長
2000年 神戸大学医学部附属病院放射線科講師
2007年 同院放射線部准教授・部長
2010年 同大学院医学研究科放射線医学分野准教授/
同院放射線科長
2013年~神戸低侵襲がん医療センター理事長・病院長/
神戸大学客員教授



神戸低侵襲がん医療センター

川原田事務所行

○市政報告会に参加します。 名

.....

住所 〒

.....

名前

.....

電話番号

.....

神戸市会議員
(垂水区)

川内きよなお

市会報告



本会議場にて

2019年度の予算市会(2月12日~3月20日)が開会中です。

今年は4月30日に平成の時代が終わり、5月1日から新しい元号に替わります。神戸市も飛躍に向けてのスタートの年度になりそうです。それにふさわしい予算になるよう議論して参ります。

しかし、年々深刻化してくる超高齢社会、いつ発生するかわからない南海トラフ巨大地震への不安、他にも課題が山積しているのも現実です。これらひとつひとつをしっかりと受け止めながら、誰もが幸せを感じることでできる神戸市政に向けて、議会の立場で意見反映して参ります。また、予算特別委員会委員長として、スムーズな委員会運営に努めてまいります。

皆さまにおかれましては、季節柄どうかご愛顧いただきお元気で過ごしてくださいませ。

2019年度
予算市会開会中
この度「予算特別委員会の委員長」に選出されました

垂水区 あれこれ

~31年1月 垂水区で総合窓口スタート~

総合窓口の取り組み(区役所2階北フロア5番窓口)

●概要

従来、別々の窓口で行っていた引越しの手続きを原則ワンストップ化

【対象】引越しの届出に伴って発生する各手続き
(国民健康保険、国民年金、後期高齢者医療、福祉医療費助成、介護保険、児童手当)

●ねらい

- ・手続き漏れの防止
- ・各窓口へ移動し並び直す負担軽減



開設に伴う改善点

- ・よりプライバシーに配慮した窓口環境
- ・誰もが利用しやすいレイアウト
- ・共用の窓口カウンターを設置し、繁忙に対応した窓口増減・他課との連携強化が可能。



今後は葬儀の後の手続き(お悔やみコーナー)の設置に向けて働きかけていきます。

垂水体育館移設

私は、昨年の11月議会で一般質問をしました。「垂水体育館は築40年以上経過しており、建物の老朽化に伴い、利用者の方々からも色々ご意見を頂いている。垂水体育館の建て替えも含めた今後のあり方について見解を伺いたい」これに対し教育長からは、「垂水体育館は垂水区の中核施設として多くの方に利用いただいており、災害時の避難所としても位置付けられていることから、設備面を含め更なる必要性を認識している。今後のあり方については、関係部局と連携を図りながら検討を進めてまいります」と答弁がありました。



垂水体育館

そして、このたびの2019年度予算(案)で、移設の方針が打ち出されました。内容的には、垂水体育館と勤労市民センター体育館を統合し、垂水スポーツガーデン(平磯1)に**大規模な体育館を2022年度に新設**するというものです。

養護学校跡は総合病院

また、垂水体育館と隣接する垂水養護学校跡と合わせて7,000㎡余りの土地に、**産科や小児科救急を持つ総合病院の誘致**を目指します。

これが実現しますと、産科、小児科が少ないという不安が少しでも解消されますし、子ども小児科救急医療についても、短時間の移動で診察を受けることができるようになります。



養護学校跡

こうべ市民連合議員団

編集・発行：こうべ市民連合議員団
〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 TEL(078)322-5844

News

認知症「神戸モデル」について 早期発見→適切なケア 認知症患者を市民全体で支え合う

今後高齢化がさらに進んでいくにつれ、**認知症の患者数**がさらに膨らんでいくことは確実です。厚生労働省が今回発表した推計によれば、団塊の世代が75歳以上となる2015年には、**認知症患者数**は700万人前後に達し、65歳以上の高齢者の約5人に1人を占めるようになります。

神戸市では、新たな認知症施策として、認知症「神戸モデル」を実施します。認知症「神戸モデル」とは、新たに創設する「診断助成制度」と「自己救済制度」を組み合わせた全国初の取り組みです。

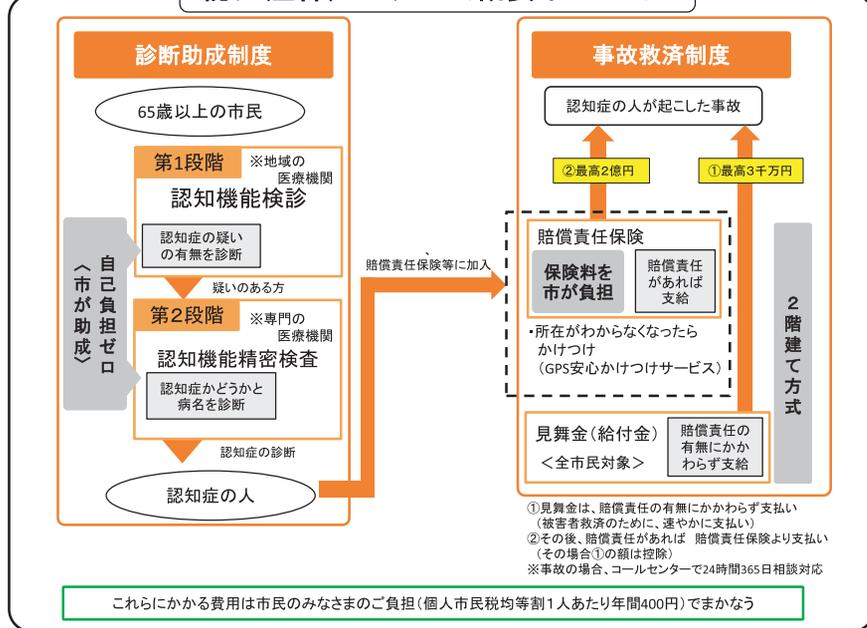
①認知機能健診(認知症の疑いの有無を診断)

※家族の希望やかかりつけ医の勧めを受け、地域の診療所などで認知機能をチェック。
※実施医療機関数 326

②認知機能精密検査(認知症かどうかと、病名を診断)

※疑いがあれば、専門的な医療機関で頭部画像診断や血液検査などで病名を診断。
※実施医療機関数 53(認知症疾患医療センター7含む)
★①②いずれも自己負担のない仕組みです。
※受診方法などの詳細…「神戸モデル」特設ホームページをご覧ください。

認知症神戸モデル<概要イメージ>



2019年度予算(案)が提示されました

一般会計	8,110億円
特別・企業会計	9,880億円
合計	1兆7,990億円

【参考】2018年度

一般会計	7,785億円
特別・企業会計	9,781億円
合計	1兆7,566億円

【学校教育の充実】

- 児童生徒の学力向上 (ICT 環境整備) 3年間で全校に整備
- 児童数が増えている、垂水小学校建て替えに向けての準備



【子育て支援】

- 保育定員の拡大等 (約1,200人分)
- 学童保育の充実 (施設整備、障害児見守り体制強化)
- 新生児聴覚検査費用助成
- こどもの任意予防接種費用助成
拡充：インフルエンザ 1,360円→2,000円
新規：ロタ・おたふくかぜ 2,000円×2回まで助成
(2019年4月以降の出生児が3歳になるまでの間)



【くらしの安全】

- カセットボンベ・スプレー缶
全国的にカセットボンベ・スプレー缶の穴あけ時の発火事故が後を絶たないことから、市民の安全確保のため、2020年度より、中身を全て使い切った上で、穴をあけずに月2回、クリーンステーションへ排出する方法へルール変更します。2019年度は、制度周知等の準備を進めます。



【療育体制】

- 児童虐待防止 (子育てセンターに常任弁護士の配置)

【防災】

- 避難所の空調整備
全小中学校の多目的室、中学校の体育館、王子体育館

議員提案条例として提出していた「神戸市子どもを虐待から守る条例」(案)が全会一致で可決されました。

昨今、虐待のニュースを見るたびに、心が痛む思いです。子どもへの虐待は、いかなる理由があっても許されるものではありません。

神戸市では、この度の条例(案)が可決されたことにより、①虐待の疑いのある家庭に対して**出頭要求**できます。②保護者だけでなく**近親者の責務が明確化**されます。③犯罪性を検討するため、**子ども家庭センターに常任弁護士を配置**します。



こうべ市民連合議員団の政策に加えて、議員一人ひとりが実現したい政策に取り組んでいます。

議員団としての取り組みと議員一人ひとりの取り組みの積み重ねで、よりよい神戸が実現していくと確信しています。

これまで各議員が議会で取り組んできた主な政策をご紹介します。

垂水区

ふじ わら たけ みつ
藤原 武光
プロフィール
1949年洲本市生まれ。1991年に初当選、議長・副議長を歴任。現在、関西広域連合議員、総務財政委員会委員、会派団長。

7期目

活動報告 **地方創生戦略(人口ビジョン)政策の見直しを!**

これまで神戸市の人口問題について疑問を重ねてきました。2012年から減少傾向が続いており、2013年から2017年の間、神戸市から明石市への転出は6,335人である一方、転入は5,256人と1,079人の転出超過です。さらに須磨区・垂水区・西区では転出超過が1,731人と顕著です。

人口減少の要因の一つが「人口ビジョン」政策と考え、人口は都市の重要な要素であり対策のカギは雇用創出と指摘してきました。スタートアップ事業並びに観光産業の新たな展開などが実現しているものの課題は多く、外国人労働者の受入による新雇用政策も重要です。



垂水区

かわ うち
川内 きよなお
プロフィール
1954年愛媛県生まれ。愛媛県立川之石高校卒業。2003年初当選。地域活動・青少年育成協議会高丸支部長。現在、会派幹事長。

4期目

活動報告 **障害者就労の定着に向けて支援体制の強化を!**

昨年の11月議会で、障害者の一般就労について質問をしました。「身体障害者に比べて知的障害者や精神障害者の定着率が低い傾向にある。今後は就労実績ばかりに目を向けるのではなく、定着率の向上や、障害の特性があるために就労に至らない障害者の就労について手を差し伸べる取り組みが必要ではないか」これに対し、久元市長から「しごとサポート等と更に連携を強化し、働く意欲のある障害者が、特性に応じて働き続けることができるよう、多様な働き方の創出と支援体制の強化に努めてまいります」と答弁がありました。



西区

いわ た
岩田 よしあき
プロフィール
1969年川崎車輦入社。2007年初当選。総務財政委員長、文教子ども委員長を歴任。現在、未来都市創造に関する特別委員会副委員長、会派副政務調査会長。

3期目

活動報告 **「市内産農産物の推進」と「水素発電神戸構想」について**

これまで本会議及び局別審査等で西区、北区で生産される地元産農産物の食育の推進について取り組んで参りました。この度2月議会に於いて「おいしい神戸産農水産物等の活用の推進に関する条例」の制定に向けて現在審議しています。

また、エネルギー関係では水素社会の取組みを進めており、昨年4月には地元企業と公民連携によりポートアイランドで水素発電システムを整備後、電気・熱供給を世界で初めて達成しました。災害に強い神戸を目指して今後も提案して参ります。



北区

いけ だ
池田 りんたろう
プロフィール
1944年岡山市生まれ。1962年より神戸市役所に勤務、1995年初当選。議長・副議長を歴任。現在、企業建設委員会委員。

6期目

活動報告 **北神急行の神戸市営化と神戸電鉄駅前再整備を**

これまで継続して要望してきました北神急行電鉄の運賃低減に向け、市営地下鉄との一体的運行の可能性について協議が開始されることになりました。

神鉄シーパスインの発売による高齢者の皆さんの移動支援や、高校生への通学助成制度の創設が実現しましたが、さらなる課題として神鉄各駅周辺の再開発が求められています。岡場駅前への有野交番移設について提起するとともに、岡場駅前・谷上駅前ロータリーの整備を申し入れています。



北区

ひと み まこと
人見 誠
プロフィール
1974年生まれ。北五葉小、鈴蘭台中、兵庫高、立命館大卒。社会保険労務士、行政書士。2011年初当選。一児の父。

2期目

活動報告 **IT起業家と地域課題解決! 「アーバンイノベーション神戸」が始動!**

平成30年2月議会の代表質問などで、ICTを活用した行政課題の解決や、広報などの行政サービスの充実を主張してきました。現在、社会・地域課題をスタートアップ・ベンチャー企業と市が協働して解決する国内自治体初のプロジェクト「アーバンイノベーション神戸」が本格的に始動。また、神戸市とフェイスブックジャパン株式会社が「地域経済・地域コミュニティ活性化に関する事業連携協定」を締結したり、LINE(ライン)「チャットボット」の機能を活用して「災害情報収集実証実験」などが行われています。



こうべ市民連合議員団

政策実現に向けた **活動報告**



垂水区

かわ ら だ ひろ こ
川原田 弘子
プロフィール
1982年関学大理学部卒。同年三菱重工(株)神戸入社。造船部門で勤務。2003年初当選。現在、会派政務調査会長。

4期目

活動報告 **医療産業都市は20周年を迎え新たなスタート!**

医療産業都市推進機構は、昨年4月に発足しました。今後についての代表質問の中で、市長からは、がん免疫や老化など国民のニーズの高い分野の研究開発の推進をしていくこと、また、ポスト京(スパコン京の後継機)に関連した質問では、推進機構が創薬アプリケーションを開発したこと、更に、推進機構、大手製薬メーカーやIT関連企業、研究機関など107社が参加しているAIコンソーシアムにおいて、AIやビッグデータ技術を開発していることなどの取り組みが示されました。



灘区

なが え かず ゆき
永江 一之
プロフィール
1975年神戸生まれ、神戸育ち。大阪芸術大学映像学科卒、衆議院議員公設秘書、党県運動務。家族・妻・長男。

1期目

活動報告 **神戸で育つすべての子ども達が健やかに成長できる環境づくりを!**

児童虐待への対応については議員となり初めての一般質問でも取り上げました。そこで1次保護所である子ども家庭センター(児童相談所)の環境改善を要望しましたが、移転による再整備の計画も進んでおり、2021年秋には兵庫区の地下鉄和野駅そばに完成予定となっています。また、検討会の副座長として関わらせていただいた「神戸市子どもを虐待から守る条例(案)」を昨年末の本会議に提出いたしました。今後、文教子ども委員会にて審査が行われ31年度の第1回定例会で議決される予定です。



須磨区

おお い
大井 としひろ
プロフィール
1953年大阪市生まれ。1972年三菱重工(株)入社。造船・人事部門で勤務。監査委員、決算・予算特別委員会委員長等を歴任。現在、企業建設委員会委員。

4期目

活動報告 **ビンのリサイクル、全国ワースト1を改善**

久元市長1年目の予算案総括質疑に於いて、「本市のビンのリサイクル全国自治体ワーストワンである」と質疑、福祉環境委員会をはじめ各種委員会等でビンのリサイクルについて質し、当局から1万1000トンの空き瓶を収集し300トン足らずしか再資源化されず、残りは埋立処分されていたことが明らかになりました。

ビンが割れない収集方法等に改善するよう提言し、昨年の2月議会一般質問にて「2020年度に試験的に一部の地区でビンの単独収集を行い、2022年度から全市でビンの単独収集を実施し、ビンの再商品化量を全国一にする。」との答弁を引き出しました。



中央区

ひら き
平木 ひろみ
プロフィール
長田高校・大阪大学法学部卒業。ソニー(株)初の海外営業女性部長。善意通訳の会会員。2007年初当選。一男二女の母

3期目

活動報告 **助けを必要とすることを表すヘルプマークの導入**

皆様にぜひ知っていただきたいヘルプマーク。縦8.5cm、横5.3cmの長方形の樹脂製のプレートで、赤地に白で十字とハートのデザインです。助けを必要としていることを表すためにつけるもので、何を手伝ってほしいかを記入できるヘルプカードもあります。神戸市でも昨年から導入され、障害者手帳の有無にかかわらず該当する希望者が無償で受け取れます。3月から年末までに、神戸市内で6,448枚のヘルプマーク、8,008枚のヘルプカードが市役所本庁、各区役所、県庁福祉窓口で配付されました。



議員紹介ページ QRコード



地域の課題から

各地域での課題や、現在、進められている各区の施策などについて、本会議などで私たち議員団が取り組んできたものを中心にご報告いたします。

灘区

土砂災害対策について

昨年の7月豪雨において灘区では大変な被害が発生し、その後台風20号・21号と豪雨災害が続きました。土砂災害を防止するため六甲山系砂防事業を始めとするハード面での各種対策が必要です。さらに土砂災害警戒区域(イエローゾーン)での避難のあり方議論も含めたソフト面での対策も大変重要と考えます。被災時の助成制度や、移転が必要となった際の助成なども併せて総合的に防災対策に取り組んでいきます。

兵庫区

兵庫運河周辺地域の活性化について

平成30年度の日本遺産に北前船寄港地として、「大輪田泊」として発展してきた兵庫津が追加認定されました。これまで、兵庫運河を活用した観光による活性化をめざしたプロムナード整備や、運河クルーズの可能性の検討などに取り組んできました。今後も歴史的価値ある資源を活かしたにぎわい創出に努めていきます。



長田区

新長田地区の活性化について

新長田駅南地区では、再開発事業を進めるとともに、活性化のための様々な取り組みが行われてきました。空き床の目立つ南部の地域に活気を取り戻すため、県市合同庁舎ビルの建設が決まり、今年7月から供用開始の予定です。新たに約1,000名の方々が働き、来庁者も多くなることから、まちが活気づくことが見込まれます。



垂水区

小東山付近等の交通渋滞解消について

「住みたい 住み続けたいまち 垂水」を掲げている垂水区では、「住み心地の良さ」が大きなポイントです。しかし、大きな課題となっているのが小東山周辺地区及び高丸インター付近の交通渋滞で、ドライバーだけでなく、バスの定期運行をも阻害している状況です。私達は以前から問題の重要性を指摘してきましたが、小東山交差点の一部改良を行ったほか、今年度から高丸インター周辺の改良工事に着手されることになりました。

東灘区

学童保育の過密化解消について

学童保育の過密化解消は、全的に大きな課題となっています。その中でも特に過密化が問題となっている、六甲アイランド内の「向洋児童館」と「学童保育コーナー」を児童の下校時間に合わせて視察しました。管理運営の皆さんから状況を伺い実態を調査し、議会で質疑するなど過密化解消に取り組んでいます。



中央区

三宮バスターミナルの建設について

三宮周辺地区の再整備基本構想の中で、最も早くスタートしているのが中長距離バスのターミナル整備です。私達は先行例「新宿バスタ」での視察調査を通じ、利便性・安全性の向上や渋滞緩和につながるると同時に、利用者が快適に過ごせる設備の必要性を感じました。市民にとってより便利な施設になるよう取り組んでいきます。



北区

利便性の向上・人口増対策について

区役所は鈴蘭台駅前に移転し、北神支所は4月より北神区役所に格上げされ、機能も充実される予定です。今後も行政サービスの利便性向上に取り組んでいきます。また、北鈴蘭台駅前・西鈴蘭台駅前などの再整備、市街化調整区域の建築基準の見直し、里山暮らしの推進などにより、地域活性化、人口増対策に努めていきます。



須磨区

ニュータウンの再活性化について

日本創成会議の人口試算で、須磨区が「消滅可能性都市」に含まれたことなどから、市内のニュータウンの中でも、特に須磨区での対策が喫緊の課題となっております。他都市の先進事例の視察なども行い、住宅団地の若者向けのリノベーションの促進や、ショッピングモールのリニューアルなどを提言してきました。



西区

区役所新庁舎の建設について

西区の人口は主に西神地域の人口増により24万2千人と発足当時の約2.6倍になっています。西区新庁舎は、西神地域での需要拡大に対応するため、西神中央駅から徒歩5分の場所に建設準備が進められています。現庁舎については、調査により建物の安全性等が確認できたため、現庁舎を活用して出張所機能を持つ拠点として整備される予定です。また、新西図書館についても、基本計画が策定されました。

議員提案による政策提案条例

他の会派・議員のみなさんと一緒に議会から行政に政策提案することにも取り組んでいます！

これまでに成立した政策提案条例

神戸市がん対策推進条例

H26年4月1日施行

条例による効果

- 特定検診とがん検診のセット検診開始
- 若年者の在宅ターミナルケア支援事業の開始
- 胃がん検診における内視鏡検診を導入



神戸市みんなの手話言語条例

H27年4月1日施行

条例による効果

神戸市のホームページでの手話動画の配信、手話通訳者の処遇改善などが行われました。また、市会の本会議中継や市長定例会見の動画配信に手話通訳が導入されました。今後も「手話は言語である」という認識の下、拡充に取り組んでいきます。



神戸市歯科口腔保健推進条例

イ歯(ハ)の日

H28年11月8日施行

条例による効果

- 神戸市役所内に口腔保健支援センター設置
- 神戸市歯科口腔保健推進検討会・懇話会の立ち上げ
- オーラルフレイル対策の実施
- 口腔がん検診の実施



神戸人と猫との共生に関する条例

H29年4月1日施行

条例による効果

獣医師会やNPO法人等による「神戸市人と猫との共生進捗協議会」が立ち上げられ、野良猫の不妊去勢手術を集中的に行う事業が実施されています。地域猫活動や猫の譲渡事業も実施されるなど、殺処分ゼロ、そして人と猫が共生する社会を目指しています。また新たに神戸市ふるさと納税に「動物愛護支援事業」寄附が設置されました。(平成29年度 666件 13,740,000円)



野良猫繁殖制限事業による手術匹数(平成29年度)

	雄	雌	計
H29/ 5月	10	9	19
6月	38	72	110
7月	150	174	324
8月	132	120	252
9月	172	181	353
10月	135	130	265
11月	29	44	73
12月	47	56	103
H30/ 1月	52	54	106
2月	113	95	208
3月	122	116	238
計	1,000	1,051	2,051

条例のイメージキャラクターにやと



2月議会で審議中の政策提案条例(案)

神戸市子どもを虐待から守る条例

子どもたちの幸せを守り、虐待を防止するため、神戸市民が一体となって、地域の力で子どもと家庭を支える社会を目指し条例を提案しています。

文教子ども委員会で視察や参考人招致など協議を重ね、里親委託や親子での支援の必要性などを検討し、条例(案)に反映させています。

条例(案)の特徴

- 子ども家庭センターへの弁護士配置
- 近親者にも健全育成への支援を求めている ※近親者:保護者の2親等(おじ・おば)
- 警察など関係機関との情報共有や連携を強化
- 一時保護施設の整備や里親拡充の推進
- 母子保健事業を通じ虐待の早期発見や家庭に応じた必要な支援により、虐待の未然防止を図る



おいしい神戸産農水産物等の活用の推進に関する条例

神戸市では食を軸とした都市戦略を掲げ、食のブランド化などに取り組んでいますが、一方で農水産業等の従事者の担い手不足は深刻な課題にもなっています。

そこで、地産地消をベースに観光産業などとの連携も視野に入れた「おいしい神戸産農水産物」の活用を推進することで、農水産業等が持続的に発展できるよう条例を提案しています。

条例(案)で提案している解決すべき重点課題

- 流通機能の向上
- 後継者・若手生産者などへの支援
- 生産地・生産者への市民理解の促進



編集・発行

こうべ市民連合議員団

〒650-8570 神戸市中央区加納町 6-5-1
TEL 078-322-5844 FAX 078-322-6161

こうべ市民連合議員団 検索
http://kobe-shiminrengo.jp



神戸市会議員

人見 誠

ひとみまこと

ひとみ輝く夢と希望の街に!

市会ニュース 第32号

北区

編集・発行：こうべ市民連合議員団 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL：078-322-5844 FAX：078-322-6161



私はこれまで「働きやすく住みやすいまちづくり」をめざして、交通、子育て支援、まちづくりといった地域課題の解決に取り組んできました。
 平成31年度予算案や議会での活動を中心に、まとめましたのでご一読ください。
 いま、神戸は都心・三宮の再整備など、いろいろな新しい取り組みが始まり、変わり始めています。
 かつての輝きを取り戻せるか、大事なときを迎えている今、議会も市民のみなさんに信頼され、活発な政策議論が行われるように変わらなければいけません。
 私はこれからも誠実に率直に政策提案・実現に取り組んでまいります。

平成31年度予算(案)

❖ 一般会計予算 ❖

子育て・教育分野への重点的な投資、経済基盤となるインフラ整備と地域の特性を活かした上質なまちづくりに重点を置きながらも、あらゆる施策にバランスよく取り組み、新しい政策展開に果敢に挑戦する内容になっています。

平成17年度以来の8,000億円を超える予算になっており、神戸の新たな未来を切り拓くための積極的な予算(案)といえるのではないのでしょうか？

❖ 予算(案)チェック! PART1 ❖

● 西鈴蘭台駅前の再整備検討

地域のみなさんと一緒に、駐輪場とその周辺の道路の改修を市当局に要望してきましたが、この度、市と神戸電鉄が連携し、西鈴蘭台駅前のあり方を検討し、再整備を行なう方向になり、そのための予算が計上されています。

これからも地域のみなさんと一緒になって、各地域の活性化に取り組んでいきます。

● 中学校給食の魅力向上

これまで、中学校給食の導入や再開に取り組んできましたが、喫食率は伸び悩んでおり、改善を求めてきました。

中学校給食のイメージ・魅力の向上のため、ランチボックスのリニューアル、人気メニューの充実や献立内容の改善等のための予算が計上されています。

神戸らしいおいしい給食をめざして、引き続き改善を求めていきたいと思えます。

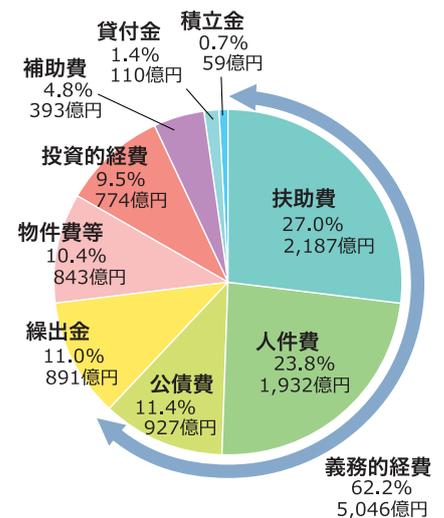
● 介護人材確保の推進

超高齢社会を迎え、介護の充実は不可欠であり、そのために介護人材の確保や待遇改善に向けた施策が必要と訴えてきました。

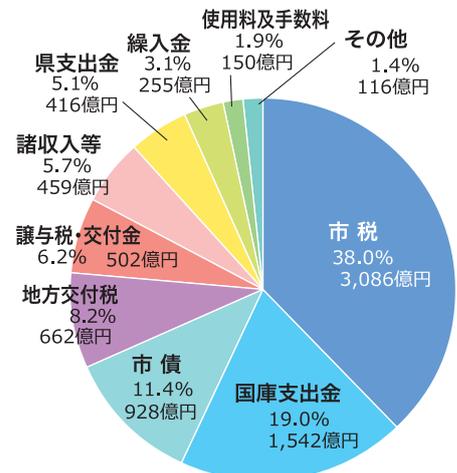
新規採用介護職員の確保をはかるため、採用後3年間、法人が負担する住居手当支給額の一部を補助(法人負担額の1/2、1人あたり上限14,000円/月)する予算などが計上されています。

今後もさらなる充実を訴えていきます。

一般会計歳出総額 8,116億円



一般会計歳入総額 8,116億円



❖ 予算(案)チェック! PART2 ❖

● 教員の多忙化対策

教員の多忙化は全国的にも問題になっており、労働環境としても、教員が児童生徒に向き合う時間を確保するためにも、早急な対策が必要となっており、議会でも繰り返し取り上げてきました。

顧問教員に代わって単独で部活動の運営が可能な外部顧問・外部支援員の配置の拡充や、さらなるセキュリティ向上・教員多忙化対策として教員用端末・教育用端末等の更新の予算が計上されています。

また、2021年度までの3年間で全校の普通教室に電子黒板・無線LAN等を整備するための予算も計上されており、これらを上手に活用すれば学力向上だけでなく多忙化対策にもなるのではないかと思います。

児童・生徒の教育環境の充実にも取り組んでいきたいと思ひます。



● ITを活用した市民サービスの向上と産業育成

時代の変化を見据えて、ITを活用して行政サービスの向上や産業育成ができないか提案してきました。

現在、社会・地域課題をスタートアップ・ベンチャー企業と市が協働して解決する国内自治体初のプロジェクト「アーバンイノベーション神戸」が本格的に始動しています。

また、AIチャットボット等のICTを活用した総合コールセンターの運営、窓口等における入力作業を省力化させる申請書作成支援システムの試行導入、データ解析の専門人材を登用して客観的データに基づく政策立案(EBPM)の推進のための予算が計上されています。

「IT先進都市」神戸と言われるくらいに、ITを活用した行政サービスの向上と神戸経済の活性化をこれからも提案していきます。



政策提案条例

本来、議会は議員又は委員会からも条例案を提案することができ、神戸市会でもこれまでいくつか議員から提案された政策提案条例が制定されています。

私も積極的に政策立案・提案に取り組んでおり、制定に携わった条例の主なものをご紹介します。

● 神戸市人と猫との共生に関する条例

野良猫への無責任な給餌が住民間のトラブルの原因となっており、また殺処分となる猫の多くが野良猫の子猫という状況であったことから、計画的・効果的に野良猫の繁殖制限と譲渡事業を行い、猫の殺処分をなくしていくため、この条例を制定しました。

平成29年度は2,051匹の繁殖制限が行われるなど、取り組みが始まっています。

● おいしい神戸産農水産物等の活用の推進に関する条例(案)

神戸は北区や西区など農業が盛んな地域であり、また生産地と大消費地がすぐ近くあります。

そのような恵まれた環境を活かし、神戸産農水産物をもっと活用し、神戸の食をもっとPRすることができないか。

そのような思いから、地産地消などをさらに進めることを求める「おいしい神戸産農水産物等の活用の推進に関する条例(案)」を策定し、現在開かれている平成31年2月議会に提案しています。



* 提案したときの
記者会見の様子

人見 誠 プロフィール

- 昭和49年2月18日生
- 一児の父
- 北五葉小、鈴蘭台中、兵庫高校卒業
- 立命館大学法学部法律学科卒業
- 立命館大学大学院法学研究科修士課程修了
- 社会保険労務士、行政書士
- 現在、福祉環境委員会、大都市行財政制度に関する特別委員会に所属
- ブログ <http://blog.goo.ne.jp/hitomi-makoto>



人見まこと
オフィシャル
WEBサイト

<http://kobe-hitomi.jp>

ご意見・ご要望をお寄せ下さい!

北区鈴蘭台支部 人見 誠 事務所

神戸市北区南五葉1-3-27 1F

TEL 078-595-5195

FAX 078-595-5197

E-mail kobe.hitomi@gmail.com

こうべ市民連合議員団市会ニュース

前に進め!! 神戸の街づくり。2019 2月号

神戸市会議員 永江一之
ながえ かずゆき



編集・発行/こうべ市民連合議員団 | 〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL:078-322-5844 FAX:078-322-6161
http://kobe-shiminrengo.jp

ごあいさつ 第1回定例市会がスタート

平成31年度の予算を審議する第1回定例市会が2月12日よりスタートいたしました。
現在、市長より示された予算案について、神戸市会では予算特別委員会が設置され3つの分科会に分かれて集中的に審議されています。

今回の予算案では、市民の暮らしの質と都市の価値向上を目指し、総合性を発揮し、あらゆる施策にバランスよく取り組むとともに、新たな政策展開に積極果敢に挑戦するとされており、重要課題として子育て・教育分野への投資や経済基盤となるインフラ整備と地域特性を活かした上質なまちづくり、安定した経済成長と市民所得の向上、持続可能な社会保障と財源基盤の構築を目指しています。

平成31年度 神戸市当初予算 6つの柱

<p>輝く 子どもたちの 未来 を創る</p> <p>1</p>	<p>健康と 安全 を守る</p> <p>2</p>	<p>街と 地域 を創る</p> <p>3</p>	<p>神戸 経済 を伸ばす</p> <p>4</p>	<p>陸海空 の拠点を 創る</p> <p>5</p>	<p>市政 改革 を進める</p> <p>6</p>
--	------------------------------------	-----------------------------------	------------------------------------	-------------------------------------	------------------------------------

ご案内 神戸市会議員 永江一之 第10回 拡大市政報告会を開催します!!



【予約不要】 ■日時:3月15日(金)午後7時～

どなたでもご参加いただくことができます。 ■場所:六甲勤労市民センター

5階大会議室
(灘区深田町4-1-39メイン六甲)



●ながえかずゆきプロフィール●昭和50年、神戸生まれ神戸育ち●元衆議院議員永江一仁の長男、祖父は第9代農林水産大臣永江一夫●地元神戸の小中学校～県立舞子高校～大阪芸術大学映像学科卒●衆議院議員泉房穂(前明石市長)公設秘書～民主党兵庫第2区総支部向山好一支部長秘書～衆議院議員岡田康裕(現加古川市長)公設秘書～●党県連勤務●家族:妻・長男(11才)

日ごろお困りのことや地域での問題など、お気軽にご相談ください。

こうべ市民連合議員団 灘区支部 永江一之事務所

〒657-0831 神戸市灘区水道筋1丁目36-6 TEL:078-806-7577 FAX:078-806-7578 E-mail: nagae8565@gmail.com HP: http://nagaekazuyuki.com





神戸市の課題

1 人口減少、少子高齢化社会の進展

人口減少・超高齢化社会をむかえ、少子化・核家族化が進み、地域コミュニティが果たすべき機能も弱体化しています。そして、次の神戸を担うべき若者・子育て世代の多くが首都圏に転出超過している状態が続いています。このままの状態が続くと都市のスポンジ化による荒廃が懸念されます。

2 温暖化による台風の大型化など、自然災害への備え

神戸の場合、急傾斜地が多く存在することから、例えば灘区では阪急より北側の広い範囲が土砂災害警戒区域となります。市民の生命・財産を守る施策の実現を加速しなければなりません。



3 格差社会への対応

家庭の経済格差がそのまま、子ども達の教育格差や健康格差につながり、次世代にもそのまま経済格差が引き継がれるという固定化が進んでいます。そのような市民生活のなかでは、自殺、児童虐待、DV、性暴力などの問題が顕著化していきます。「貧困の世代間連鎖」を断ち切る政策を推進し、地域社会が子どもの成長を見守れる社会を実現しなければなりません。

4 若者に選ばれる活気ある神戸の回復

首都圏への人口流出が続いています。モノづくりと物流の拠点として栄えてきた神戸ですが、3次産業、IT産業やメディア産業など、若者が選ぶ傾向の強い職種が弱みとなっています。

また、全国的に増加している外国人観光客数も、すぐ近くに大阪、京都、そして姫路があることもあり、十分に取り込むことができていません。



神戸市の主な取り組み

- 保育定員の拡大や保育人材の確保
- 学童保育の充実や子どもの遊び場拠点の整備など子育て環境の充実
- 任意予防接種費用助成や高校生通学費助成など子育て世帯の経済的負担軽減
- 教員の多忙化対策や小学校の過密化対策など教育の環境整備
- 医療産業都市の推進など医療の充実
- 認知症「神戸モデル」の実施など、安心して老後を迎えることができる高齢者に優しい社会の実現
- 障がい者支援センターの増設や就労支援の取り組みなど総合的な障がい者施策の推進
- 生活支援コーディネーター・地域支え合い推進員の配置など格差社会への対応
- 地域での避難訓練や要援護者の避難支援を目的とした名簿・マニュアル作りなど災害に強い街づくり
- 過度な宅地開発を抑制しつつ、地域事情に応じた取り組みを進めることで50年後を見据え、安定的に持続可能な都市を目指した都市空間向上計画の策定
- 土地の寄付受け事業やリノベーション支援、老朽家屋撤去費用の助成など、空地・空家対策の強化
- 空き店舗対策など商店街への支援
- 歴史的建築物の保全や生物多様性の保全の推進
- 航空機産業や水素産業への参入促進など次代のリーディング産業育成の取り組み
- 食都神戸2020の取り組みなど都市ブランドを向上させる施策の推進
- 都心三宮・ウォーターフロントの再整備や市街地西部地域の活性化
- 区役所総合窓口の拡充
- 須磨海岸エリアの再整備や六甲山・摩耶山の活性化による観光振興



郵便はがき



神戸市会議員
池田りんたろう



神戸市会議員 子どもたちの未来と明日の北区のために

池田りんたろう 市会ニュース

〒650-8570 神戸市中央区加納町6-5-1 TEL：078-322-5844

2. 19予算市会代表質疑から

北神急行電鉄と市営地下鉄の一体的運行について

【問】 一体的運行を行うかどうかの判断時期と一体的運行を開始する時期について、いつ頃を想定しているのか。



【答】 一体的運行への判断は本年3月末までに行う。また、一体的運行となると運行開始時期は2022年度までに実施する。

市営バスについて

【問】 一体的運行実現後のバス路線設定に関する考え方について伺う。

【答】 神戸北町地区から谷上駅への新たなバス路線の検討が必要だと考えている。一方、64系統のバス1本で利用されている市民の利便性も考慮する必要があることから、今後、三宮との交通アクセスのありかたについて検討していきたい。

— 市政のご相談はお気軽に —

池田りんたろう事務所 〒651-1302 神戸市北区藤原台中町1丁目6番
電話078-982-1177 FAX 078-981-1801
こうべ市民連合議員団 電話078-322-5844 FAX 078-322-6161

交通局関係の質疑

- 多井畑東町地区のバス路線の新設について
- 通学定期券割引率拡大について
- 和田岬駅のホーム拡張について
- 海岸線活性化策について

予算特別委員会・交通局関係・2019年2月28日

多井畑東町地区のバス路線の新設について

Q 大井としひろ議員

平成31年度予算において、バス路線の新設として、検討中ではあるが、交通空白地である多井畑東町地域と妙法寺駅を結ぶ路線が、31年度中に新設されると聞いている。

本路線については、地元からの要望も強いため、評価をしている。

一方、路線が新設される以上、一人でも多くの住民の方に乗車していただくことが非常に重要と考えるが、路線が開設されるに当たって、地域の方にどのように広報・周知を行うのか。

A 交通局長

妙法寺駅前～多井畑東町～妙法寺駅前の新運行区間を路線新設予定である。多井畑東町をはじめ、周辺地域の皆様に乗車いただけるようPRに努めていきたい。



神戸市会 NEWS VOL.81 2019.春号



安心・安全／公平・公正な街づくりに
大井としひろ

こうべ市民連合議員団
企業建設委員会委員長
神戸市議員(須磨区)

編集・発行:こうべ市民連合議員団 〒650-8570 神戸市中央区加納町6丁目5番1号 TEL (078) 322-5844 FAX (078) 322-6161

平成31年 第1回定例会2月議会は、2月12日(火)から3月20日(水)まで開催中です。

今期の神戸市会では、企業建設委員会委員長として所管関係局である「建設局」「水道局」「交通局」を中心に議会活動を行っています。
2019年2月議会では、第2分科会に所属し、建設局関係、交通局関係の2局について、会派を代表して質疑を行いました。

建設局関係の質疑

- 須磨海浜水族・海浜公園の再整備について
- レッドゾーンの指定について
- 危険がけ応急対策助成事業について
- 森林環境譲与税(仮称)について

予算特別委員会・建設局関係・2019年2月22日

須磨海浜公園エリアの再整備について

Q 大井としひろ議員

須磨海浜水族・海浜公園の再整備については、昨年末から今年にかけて再整備に係る基本的な考え方(案)をパブリックコメントにかけ、来年度中には優先交渉権者を決定したうえで、2023年度にリニューアルされた施設等の供用開始を予定しているとのことである。

この再整備についてはこれまでも指摘してきたが、市民の方々は、水族園は経済観光局、公園は建設局、海岸はみなと総局というような所管の違いは認識していないので、関係局が連携して市としてこのエリア全体が良くなるような再整備にしてもらいたいのが当局の見解を伺いたい。

A 建設局長

引き続き関係局との連携を密接に図りながら、須磨海浜公園エリア全体がより良い空間となるよう取り組みを進めていきたい。

Q 大井としひろ議員

このエリアをラジオ体操など普段から気軽に使っている地域の方々も満足できる再整備にしてほしいがどうか。

A 建設局長

ラジオ体操をはじめ日常的に公園を利用される方々のご意見を適宜お聞きし、不安なく利用を継続でき、また、より満足できる再整備に努めたい。

1. 整備手法

- (1) Park-PFI 制度について
- ・ Park-PFI 制度では、整備の対象を「公募対象公園施設」や「特定公園施設」等に区分し、民間事業者がこれらを一体的に整備します。
 - ・ 公募対象公園施設は民間資金により整備・運営し、特定公園施設は民間資金と公的資金を合わせて整備を行います。

<Park-PFI イメージ>



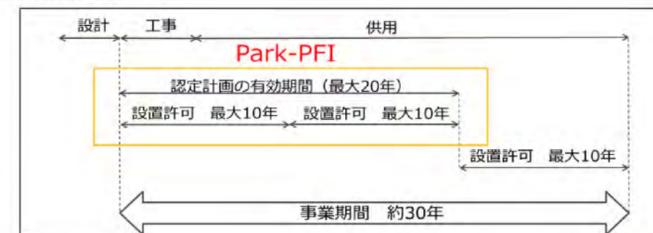
- (2) 整備対象施設について
- 整備対象施設を以下のように区分し、事業区域内においてこれらの施設の再配置について民間事業者からの提案を求めます。
- 【公募対象公園施設】・・・水族館、宿泊施設、駐車場、カフェなどの公園利用者のためのにぎわい施設等
 - 【特定公園施設】・・・一般園地(園路、広場、遊具、植栽等)

- (3) 施設及び公園の管理
- ・ 公募対象公園施設は、民間事業者が市から都市公園法に基づく設置管理許可を受け、施設を整備・所有し、管理運営を行います。
 - ・ 特定公園施設は、民間事業者が整備を行い、市が譲り受けることで市の所有する施設となります。
 - ・ 特定公園施設は、再整備を行う民間事業者を指定管理者として指定し、公募対象公園施設との一体的な管理運営を行っていただく予定です。

2. 事業期間

- ・ 事業期間は、工事着手日から30年を予定しています。
- ・ Park-PFI 制度では、提案された計画を「認定計画」として認定(有効期間:最大20年)し、有効期間中は設置管理許可が担保されます。
- ・ 本事業では、20年を経過する時点で改めて許可要件を満たしていることを確認した場合に、さらに最大10年間の設置管理許可を行う予定です。

(事業期間イメージ)



認知症の人にやさしいまち『神戸モデル』1月28日開始

認知症診断

事故救済制度 4月～ 無料で受けられる4つの安心

- 1 賠償責任保険
最高2億円の賠償責任保険への加入
- 2 コールセンター
24時間 365日対応
- 3 GPS かけつけサービス
- 4 基金金
最高3,000万円

これらにかかる費用は市民のみなさまのご負担(個人市民税均等割)人あたり年間400円)でまかないます

65歳以上の神戸市民

無料



認知症と診断された場合

[受診券のお申込み・お問い合わせ]

TEL 神戸市総合コールセンター 078-333-3330 (年中無休 9:00~21:00)

詳しくはこちら http://www.kobe-ninchisho.jp

神戸市 認知症診断 検索

市政事務所



〒654-0012
神戸市須磨区飛松町1丁目4番9号 吉川ビル1階
TEL 078-735-1103 FAX 078-743-6155

神戸市政についてのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。

神戸市議員

大井としひろ

大井としひろ

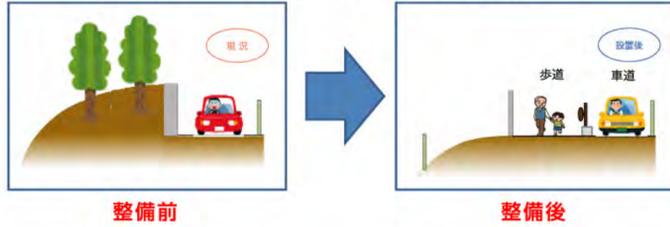
検索

- メールアドレス ooi@kobe-001.com
- 公式ホームページ http://kobe-001.com
- おーいブログ http://blog.goo.ne.jp/kobeooi
- ツイッター KOBE_SUMA_OOI



離宮公園前交差点・天理教東側道路の仮歩道の開通

須磨多聞線用地を活用して、通学路の交通安全等のために整備してました天理教東側道路仮歩道が、平成31年2月13日(水)に開通しました。子供たちも安全に通学が出来るようになりました。



名谷環状線の自転車専用道の整備予定について

西落合3丁目から竜が台4丁目までの約500メートルを平成31年度に整備される予定です。



須磨の情報をお届けします。

垂水妙法寺線(禅昌寺工区)整備事業について

垂水妙法寺線は、垂水区平磯から、名谷、妙法寺周辺などを経て、須磨区明神町に至る、延長10.4kmの都市計画道路です。



写真:2019.1.16明神橋架替工事が終了



垂水妙法寺線(禅昌寺工区)整備予定

名谷駅駅舎の美装化・駅前空間の魅力向上

名谷駅

- 魅力的で快適な駅前**
 - 「駅前の再整備」計画決定へ
 - 駅周辺や駅舎のリニューアル検討に着手
 - 駅前の舗装のリニューアル
- 子育てしやすいまちに**
 - あおぞら幼稚園(閉園)を活用した子育て世帯の「働く場」「地域活性化の場」づくり
 - 駅ビルへの魅力的な「子育て支援機能」を検討・導入へ
- 若者が住みやすいまちに**
 - 官民が連携した住替え促進

2019年 一部工事着手検討開始 → 順次 リニューアル → 2027年 (名谷駅開業50周年)

子育て世帯の経済的負担の軽減

前回の決算市会で質疑し、通学定期の割引率の拡大の答弁があったもの。

地下鉄通学定期割引率の拡大「大学生」「中学生・高校生」区分新設 予算額:2億3710万千円

市内の民間鉄道事業者と比較して低い割引率になっている地下鉄通学定期の割引率について、消費税率改定に合わせて、新たに「大学生」「中学生・高校生」の区分を設け割引率を拡大する。

消費税率改定後の定期料金から「大学生については5%、「中学生・高校生」については、「大学生」からさらに5%(トータル10%)の値下げを実施することで、子育て世帯の経済的負担の軽減を図る。

《実施内容》

■実施時期:2019年10月1日 ■対象路線 地下鉄全線

■実施内容通学定期「大学生」「中学生・高校生」区分の新設

●「大学生」:消費税率改定後の定期料金から△5%

●「中学生・高校生」:「大学生からさらに△5%(消費税率改定後の定期料金からトータル△10%)



75系統高倉中学校前(土曜日)始発時刻の繰り上げ

従前から要望頂いていた75系統土曜日の高倉中学校前始発バスが、妙法寺駅での地下鉄線と連絡が悪く、地下鉄に乗車できないという不備がありました。

今回これを改善し、始発時刻を6:32→6:15に始発時刻を4月1日から時間を繰り上げ運行することになりました。

4/1より 75系統土曜日の高倉中学校前始発バス
始発時刻 6:32 → 6:15
繰り上げ運行



地下鉄通学定期券割引率拡大 区分新設後の定期旅客運賃(案)

通学定期(大学生)			
区間	値下げ前	運賃案	差額
1区	5,030円	4,780円	-250円
2区	5,780円	5,500円	-280円
3区	6,530円	6,210円	-320円
4区	7,540円	7,170円	-370円
5区	8,300円	7,890円	-410円
6区	9,050円	8,600円	-450円
7区	9,800円	9,310円	-490円
8区	10,560円	10,040円	-520円
9区	11,310円	10,750円	-560円

通学定期(中学生・高校生)			
区間	値下げ前	運賃案	差額
1区	5,030円	4,550円	-480円
2区	5,780円	5,230円	-550円
3区	6,530円	5,900円	-630円
4区	7,540円	6,820円	-720円
5区	8,300円	7,500円	-800円
6区	9,050円	8,170円	-880円
7区	9,800円	8,850円	-950円
8区	10,560円	9,540円	-1,020円
9区	11,310円	10,220円	-1,090円

家族と地域のちからを神戸の未来へ

神戸市議員

平木ひろみ

Think globally
Act locally



3期12年の任期の集大成として

本会議で市長に対して一般質問をしました

東川崎町・神戸駅周辺地区の浸水対策

2004年には台風のために三宮南の国道2号線一帯が浸水し、都市機能を麻痺させました。これを機に防潮堤の整備とともに、約10年、281億円をかけて3ポンプ場が整備されました。この高性能のポンプ場整備のおかげで、三宮南地区では昨年ほとんど浸水被害はありませんでした。

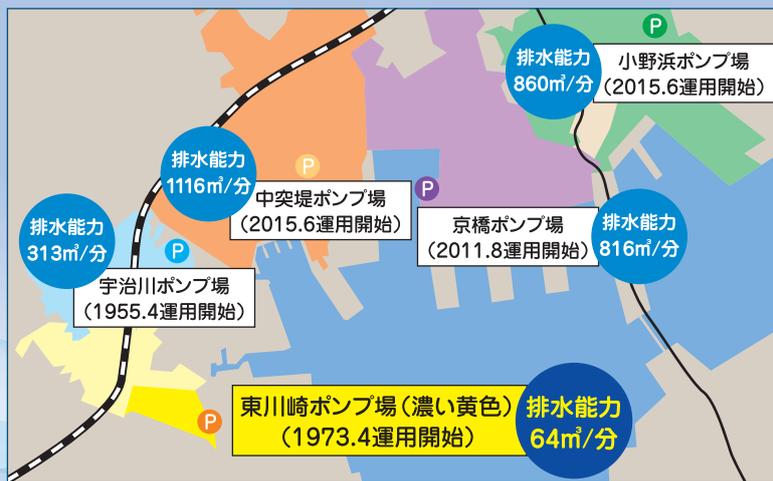
一方、東川崎町、神戸駅周辺地域では台風21号によって広範囲で浸水被害が発生しました。担当部局に確認したところ、東川崎町の防潮鉄扉の動作点検は毎年5月に実施していたものの、道路規制をしないと全延長40mの閉鎖ができないことから、全延長の5分の1を閉めるだけで点検済としていたとのことです。8月23日の台風20号の際に、最後の5mが閉まらず鉄扉の不具合が判明したにもかかわらず、補修が間に合わないまま9月4日の台風21号が到来したため、土嚢で対応し、ある程度は海水流入を防いだものの、雨水幹線である蟹川が潮位上昇により海水が逆流して雨水が流れにくくなり、

地盤の低い場所に水が集まったため被害が発生したとのことであり、海水と雨水の両方への対策が必要であることは明らかです。

東川崎町と神戸駅をはさんで反対にあるバスロータリー周辺地域も、海抜が低く海水が逆流してくるので、雨水の自然流下が阻害され、これまでに何度も浸水しています。この地域の雨水を処理する東川崎ポンプ場は1973年の整備、宇治川ポンプ場は1955年の整備で老朽化しているうえに、排水能力も低く、水路の関係で雨水の取り込みがうまくできていない地域もあり、ポンプ場の建替えと雨水幹線改修による恒久的、抜本的な浸水対策が早急に必要です。

今年の台風シーズン前までの応急処置に加え、神戸駅周辺地域全体の雨水の流域と水路・雨水幹線の見直しをし、新たなポンプ場や雨水幹線の整備を進めることとともに、地域住民への丁寧な説明を強く市長に求めました。

今年の台風シーズン前までの応急処置に加え、神戸駅周辺地域全体の雨水の流域と水路・雨水幹線の見直しをし、新たなポンプ場や雨水幹線の整備を進めることとともに、地域住民への丁寧な説明を強く市長に求めました。



答弁

応急対策

蟹川の防潮堤のかさ上げと、高潮による海水の逆流を防ぐ仮設ポンプの設置の設計を終えたので、平成31年5月から8月の間の完成を目指して施工する。

抜本的対策

地域全体としての雨水流域・水路の見直しを行い、平成31年度中に全体計画を立て、現ポンプ場の約7倍の排水能力を持つ新たな雨水ポンプ場と雨水幹線を平成37年度供用開始を目指して整備する。



病気治療と仕事の両立支援の充実

現在、わが国では労働力人口の約3分の1に相当する人が疾病を抱えながら就業している現状にあります。病気の治療と仕事の両立には様々な課題があります。現在、がん患者の3人に1人は就労可能年齢で罹患すると言われており、そのうち勤務者の場合は34%が依願退職もしくは解雇されており、自営業者の場合は17%が廃業されているという統計が出ています。また、診断直後から1ヵ月以内に離職した人が25%以上あり、復職後離職した人は50%を超えるというがん経験者のアンケート調査結果も出ています。

治療と仕事を両立する上で必要だと感じる支援として、職場風土の醸成などを希望する声が多くあります。安心して治療を続けられるような柔軟な勤務形態や治療・通院目的の休暇制度など職場環境の整備を企業に求めるとともに、休職する従業員の代替要員を雇う企業への支援をすることにより、退職を防ぐことができるのではないかと考えてきましたが、県では来年度からの補助を検討されているようです。

また、治療の副作用で外見(アピアランス)が変わってしまうと、患者のモチベーションが下がり、日常生活に支障をきたすことに加え、治療効果も上がりにくいと言われてい

ます。病気の治療費などを患者個人に対して補助することは難しいとは思いますが、医療用ウィッグ購入助成をする自治体も(6都道府県、53市町村)あります。



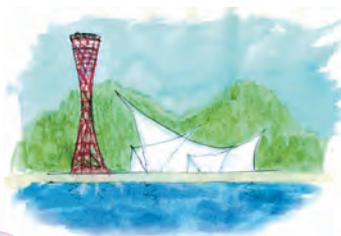
神戸市としても、県の補助に上乗せする形での支援や、医療用ウィッグ購入助成など、支援の対象を企業や患者個人に広げて、がんなどの病気の治療と仕事の両立を推進する神戸市の姿勢を市民に示すような施策が検討できないか、市長に質問し、前向きな答弁をいただきました。

小学校英語の教科化への対応

神戸市では、小学校英語は担任が中心となって進めるという基本方針のもと、ALTを各校に派遣したり、地域人材であるイングリッシュサポーター、サポートリーダーの力を得たりしながら、英語活動を進めてきました。

小学校の英語教育は、平成32年度から英語の教科化が始まり、現場では教科化に向けた取組が急がれています。評価については全校で統一の基準で行われるべきですが、小学校の教員は、小学校英語について大学在学中に教育課程を修了したわけではありません。文部科学省では英語専科教員の配置を決めました。神戸市でも英語専科教員を配置しますが、全小学校への配置はできないので、各学校の英語教育中核教員が中心となって対応していくこととなります。担任教員が統一基準に則り、公正かつ適正な評価ができるよう、万全の準備を整えるよう、強く教育委員会に求めました。

市民の声、
家庭の声を
市政に



外国人児童への日本語指導の充実

神戸市では歴史的に多くの外国人家族が生活しておられますが、法改正の影響もあり、仕事のために来日する外国人が急増している地域もあります。

実際に日本語が分からない児童生徒がクラスにいた場合、サポーターが毎日来てくれるわけではないので、担任が個別に授業をしたり、授業中に特別にサポートしながら対応するなど、よりきめ細やかな対応が必要となります。



今後も外国人児童生徒の増加が見込まれる中、教員の負担を軽減し、日本語指導の充実を図っていくためには、教育委員会として、「生活日本語」と「教室で使用する日本語」などのわかりやすい「日本語指導マニュアル」や「動画」を整備して、各学校に配布する、あるいは神戸市城表教育基盤サービスKIIFに掲載して情報共有を図るよう教育委員会に質問し、マニュアルを整備するという答弁をいただきました。